



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

11/22 医療関係者へ感謝(千葉大学医学部附属病院)

CONTENTS

全農自己改革

- SNSを活用した販売促進について

営農情報

- 令和3年度 水稻生産を振り返って
- サツマイモポット苗育苗と防除のポイント

園芸情報

- 販売経過および情勢

米穀情報

- 米穀情勢について

肥料情報

- 甘藷肥料のキープポイント

トピックス

- 県内小学校で稲作の出前授業を実施!
- 医療関係者に千葉県産新米コシヒカリを贈呈

お知らせ

- 第46回 農業機械大展示会「紙面展示会」お礼

アンケート調査

- アグリ情報ちばに関するアンケートにご協力ください

アンケートに
ご協力ください
(詳しくはP14)

全力結集で挑戦し、
未来を創る

全農自己改革の取組状況

園芸事業

SNSを活用した 販売促進について

コロナ禍でスーパー・量販店の店頭での試食宣伝をとまなう販売促進が制限されるなか、ＪＡ全農ちばは新たな取り組みを実施しています。

1. これまでの取り組み

ＪＡ全農ちばでは2020年3月にInstagramやYouTubeなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）のアカウントを取得し、Web上で千葉県産農畜産物のＰＲ活動を始めました。

(1) ＪＡ全農ちばの取引先と連携してSNS上でイベントを開催



Web掲載ページ

最優秀賞を受賞しました。

また、小松菜の生産者にも参加いただき、動画にて生産現場の思いをコープみらい組合員に伝えていただきました。組合員の方からはこのイベントを通じ「生産者さん紹介」をみてご苦労が分かりました」「レシピのおかげで、更に小松菜の出番が増えそうです」などのご意見をいただきました。コロナ禍で直接の交流はできませんでしたが、生産者と消費者の思いが繋がるイベントとなりました。

2021年1月～4月にかけて生活協同組合コープみらい千葉県本部（以下コープみらい）と連携してSNS上で「小松菜レシピコンテスト」を実施しました。レシピの応募は21件に達し、審査の結果「小松菜のもちチーズミルク煮」が



小松菜の
もちチーズミルク煮

(2) レシピを活用した販促の実施

「小松菜レシピコンテスト」にて最優秀賞を受賞した「小松菜のもちチーズミルク煮」をコープデリ宅配事業カタログの11月2週目に掲載していただき販促活動を実施しました。その結果、千葉県産農産物の取扱拡大に向けた新たな販売方法につながる取り組みとなりました。



カタログ掲載写真

2. これからの取り組み

(1) 取引先と連携した新たなSNS上での取り組み

引き続きコープみらいとコラボし、ＪＡ全農ちばの施設でもあり、コープみらいの商品セットセンターでもある柏青果集品センター内部を動画化します。生産現場から出荷された青果物が「どのような場所で、どのように加工されて組合員の方々の手元に届くのか」を動画で伝えることで食の安全・安心の取り組みを伝えてまいります。

(2) 県内生産者と連携したSNS上での取り組み

ＪＡタウンの販売機能とInstagramのライブ配信機能を活用し、消費者に生産現場の様子を直接ライブ配信し、商品が欲しい場合にはＪＡタウンにて購入していただく仕組みを2022年前半の実施に向けて調整中です。

ＪＡ全農ちばは、今後も従来の手法にとらわれずに新たな販促手法を展開し、千葉県産農畜産物のＰＲ強化につながる取り組みを進めてまいります。

営農情報

令和3年度 水稻生産を振り返って

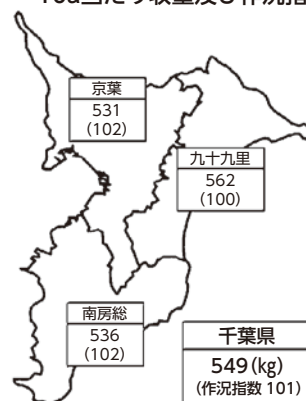
令和3年産水稻 千葉県の作柄概況

農林水産省関東農政局の作柄概況（12月8日公表）によると令和3年産の作柄は10a当たり収量549kg（作況指数101）となりました。

穂数×1穂当たりのもみ数が「平年並み」であることから、全籾数は「やや多い」となりました。登熟は、「平年並み」となりました。

表1 令和3年産水稻の作柄概況

平 年 比 較				
作況指数	穂数の多少	1穂当り 籾数の多少	全籾数の 多少	登熟の良否
101	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み

図 水稻の作柄表示地帯別
10a当たり収量及び作況指数

* 農林水産省関東農政局 農林水産統計より

1. 育苗期

- 3月から気温が例年より非常に高く推移しました。
- 気温上昇にともない、苗の生育が早まり、本田の準備（代かき作業等）に追われて、育苗管理に手が回らない状況や老化苗・徒長苗になりやすい状況がありました。

2. 移植期から分けつ期

- 4月は強風・低温が頻繁にあり、活着不良や除草剤の薬害が懸念されました。
- その後、6月までは日照も多く推移しました。

3. 幼穂形成期から出穂期

- 幼穂形成期から出穂期にかけて日照が少なく、特に7月上旬は顕著であり、葉いもち病の発生も散見されました。

4. 出穂後から成熟期

- 登熟期間中の台風や降雨によって倒伏が発生し、登熟への影響が懸念されました。
- 収量は例年並み（公表）となりましたが、倒伏の影響で「乳白」の発生は例年に比べて多い傾向でした。

5. 次作に向けて

- 登熟の向上をはかるため、稲ワラの腐熟促進と合わせて、土づくりを積極的に実施しましょう。

表2 秋に使用する土づくり肥料の特徴と使用方法

目 的	肥料名	施用量(10a)	特 徴
稲わらの腐熟促進	石灰窒素 (窒素20%)	10～20kg	有機物を腐熟する微生物の増殖に必要な窒素と、分解する働きを良くする石灰が含まれているので効果的。
	アグリ革命アクア	100ml	酵素により、稲わらの腐熟化を促進。
	アグリ革命	2kg	液剤はオモダカ・クログワイなど難防除雑草対策の秋防除除草剤と混用可。
けい酸の補給	農力アップ (けい酸20%)	3～5袋	従来のけい酸質資材と比較して利用効率が良い。根ぐられ・秋落ち対策にも有効。
	ケイカル (けい酸30%)	5～10袋	水には溶けず、水稻の根からでる有機酸に溶けて吸収されるので秋施用が効果的。稲体の抵抗力アップに貢献。
りん酸の補給	苦土重焼りん (りん酸35%・けい酸9.4%)	2袋	火山灰土壌や基盤整備圃場等には、＜溶性りん酸を含んだ苦土重焼りん＞が効果的。

営農情報

サツマイモポット育苗と 防除のポイント

メリクロン苗の導入は、いもの早期肥大や形状・皮色・貯蔵性の向上が期待できます。苗を効率的に増殖しサツマイモの品質向上に努めましょう。また、本年も1月中旬よりメリクロン苗の配布が始まります。まだご注文がお済みでない方はお近くのJAへお問い合わせください。

ポット苗 育苗管理

1. 育苗床の準備

- (1) ポット苗の届く1カ月前を目安に苗床の準備を行いましょう。
- (2) 前年につる割れ病などが発生した苗床は太陽熱消毒などの実施が望ましいです。（夏季）
- (3) 肥料は窒素・りん酸・加里を㎡あたり20～30g（成分量）入れましょう。
- (4) 窒素の半量は緩効性肥料を使いましょう。

2. 苗が届いたら…

育苗中になるべくイモの着生を抑える→苗の伸長が良くなる

- (1) 生育不良株がないかを確認しましょう。
- (2) 赤根を取り除き直ちにポット苗を定植しましょう。
- (3) 定植後はたっぷりと灌水を行いましょう。

3. ポット苗定植後の管理

夕方の保温は早めに行い夜温の低下を防ぐ（午後3時頃を目安）

- (1) 活着まではしっかり保温し、夜間は状況に応じて保温シートなどをトンネルの上にかけてみましょう。
- (2) ハウス内の地温を25～30℃程度で維持しましょう。
- (3) ハウス内の気温は、日中25～30℃、夜間は最低15℃を維持しましょう。
- (4) 低温と土壌の乾燥は生育を停滞させ増殖率の低下を招きます（芋の着生など）。

→保温と灌水（1回の量を減らし回数増やす）をしっかりと行いましょう

- (5) 採苗後の追肥（㎡あたり窒素で30gを目安）で草勢を維持することがポイントです。

・晴天時はトンネル換気に注意し葉焼け防止

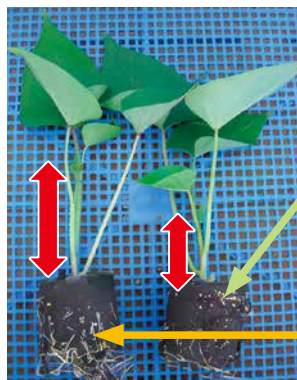
ハウスのビニールが新しい時は特に注意！

●べにはるか育苗の留意点

「べにはるか」は、「ベニアズマ」に比べ、苗の伸長が遅く節間が短いです。

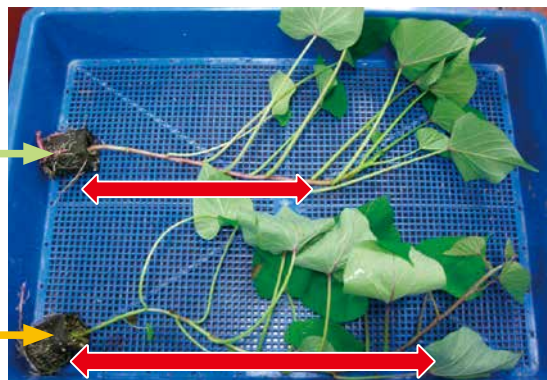
→「ベニアズマ」の育苗よりも温度と湿度を高め管理することが重要です！

（日中の気温を33℃、夜温20℃以上を目安）



べにはるか

ベニアズマ



ポット苗 育苗管理

●防除を考えるときに注意すること

ハウスで発生している害虫は何？ハウスで初発生したのはいつ？どこで？

前年発生した場所・時期は特に注意して観察し、早めの防除を心掛けましょう。

1. 基腐病 育苗床から本圃への持ち込みには要注意

基腐病対策の基本は、本圃に病原菌を「持ち込まない」ことです。苗からの持ち込みを防ぐため定期的な苗の更新、苗床消毒および苗の消毒による健全な生産を心がけましょう。

(1) 防除薬剤

苗：ベンレート水和剤 500～1000倍/1回 植付前30分間苗基部浸漬

(2) 収穫後の本圃の管理

収穫が完了した圃場はツルなどの残さをできるだけ持ち出し、収穫後は地温が高く、土壌水分があるうちに耕うんを行うことで、有機物の分解が促進されます。

(3) 種イモの管理方法¹⁾

貯蔵前の処理として

収穫 ⇒ **水洗** + 選別後、なり首・**尾部**²⁾切除、種イモ消毒
⇒貯蔵 ⇒選別 ⇒苗床へ

という工程を踏むことで、貯蔵中の発病リスクを軽減できます。

1) 参考資料：農研機構「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策（令和2年度版）」

2) 尾部の切除は乾腐病等による貯蔵腐敗の予防のため。



2. つる割病 前年発生が見られた育苗床は要注意

土壌伝染性で苗の切り口や細根の傷口から侵入し、感染します。

茎の地際部が縦に裂開してつる割れとなり、葉は紫褐色から黄変して落葉します。

(1) 防除薬剤

床土・堆肥：クロールピクリン剤※ 3～5ml/1穴 1回（処理後、被覆が必要）

※クロピク80、ドロクロール、ドジョウピクリン等 使用回数は合わせて1回

苗：ベンレート水和剤 500～1000倍/1回

植付前20～30分間苗基部浸漬 もしくは挿苗時株元灌注（20～40ml/株）

(2) 夏季の太陽熱消毒

梅雨明け頃から育苗ハウスの太陽熱消毒をすることで、つる割病、立枯れ病、ネコブセンチュウ等の防除効果があります。以下の手順で行いましょう。

ア. 育苗終了後、株を抜き取り残渣等がない状態にします。

イ. 灌水チューブで一昼夜を目安に十分かん水した後、古ビニールやポリフィルムでハウス全面を被覆します。

ウ. 20～40日間ハウスを密閉し、高温状態を維持します。

園芸情報

販売経過および情勢

青果物 11月の販売経過

11月は北日本で寒気の影響が弱く、南からの暖かな空気が流れ込んだため、気温がかなり高めでしたが、沖縄や奄美では寒気の影響を受け、気温は低めでした。降水量は北・東日本の日本海側と西日本太平洋側で多く、日照時間は東日本の太平洋側でかなり多くなりました。

10月の東京都中央卸売市場の野菜入荷量は、全体では前年同月比で99%となりました。

北海道で不作となったタマネギやバレイショのほか、病害虫の発生と裂果が著しかったトマトが前年を下回りました。キャベツ、ハクサイ、にんじん、ねぎ等はほぼ前年並みか前年より若干の増加となりました。価格は全体で前年同月比の103%となりました。

入荷が少なかったトマトのほか、関東産の生育が若干遅れたキャベツや長野など高冷地の終盤が早まったレタスなどは前年を上回りましたが、だいこん、にんじん、ねぎなどは太物の発生が多く、販売苦戦から前年を下回りました。

国産果実の入荷量は、全体では前年同月比の96%となりました。

前月に続いてリンゴや柿は、春の霜害などの影響が残り、大部分の品種で前年を下回る入荷が続きました。いちごは定植が順調に進み、「とちおとめ」は前年よりも出荷スタートが早かったため、前年を上回る入荷でした。

価格は全体で前年同月比の111%となりました。

リンゴ、柿等は入荷量が少ないことから前年を上回りましたが、生育が前進傾向にあるいちご類の大部分は前年を下回りました。

※数値はどれも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（11月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
上 旬	39,426	96	224	99
中 旬	44,402	108	212	100
下 旬	39,246	95	209	111
月 計	123,074	99	215	103

JA全農ちばの販売状況（11月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	37,018	101	118	102	4,375	103
果 実 計	49	217	1,431	99	71	214
だいこん	11,398	105	54	93	611	98
にんじん	6,498	111	95	74	617	83
キャベツ	10,614	87	64	108	684	93
ほうれん草	121	91	321	101	39	92
ね ぎ	642	132	242	79	156	104
春 菊	94	90	490	103	46	93
レ タ ス	203	92	151	120	31	110
パ セ リ	32	100	1,442	141	47	140
きゅうり	690	106	275	97	189	103
ト マ ト	1,430	136	423	111	605	150
さつまいも	2,704	106	252	108	680	115
い ち ご	34	264	1,714	89	59	234

12月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品 名	入荷量 (t)		価格 (円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	13,235	並	63	愛知 千葉 茨城 神奈川	各産地の生育は概ね順調。豊作基調となっているため、潤沢な出荷が見込まれる。年末には引き合いが強まるものの、価格は平年を下回り、前年並みを見込む。
だいこん	やや多	10,717	やや安	63	千葉 神奈川	千葉は安定した出荷が続く。神奈川は増量を見込み、潤沢な出荷が予想される。全体量が多いことから厳しい販売が続くが、下旬以降はやや引き合いが強まる見込み。
にんじん	やや多	2,936	やや安	107	千葉	千葉は作柄が順調であった前年同様に潤沢な出荷となる。他の関東産地は干ばつの影響から入荷減となった前年を上回る出荷量となるため、価格は前年をやや下回る見込み。
トマト	やや少	4,830	やや高	342	熊本 愛媛 本知木	熊本は昼夜の気温差から、裂果などのロスや黄化葉巻病が例年より多く見受けられる。抑制作も終了期が早まり、総体の入荷量は少なかった前年をやや下回る見込み。
きゅうり	並	4,505	やや高	346	宮崎 千葉 高知	好天により越冬作の生育は順調で、前年並みの出荷を見込む。中旬までは厳しい販売になるが、年末にかけて引き合いは強まり、価格は前年をやや上回る見込み。
ねぎ	並	5,551	やや安	328	茨城 千葉 葉	東北産は降雪と品質低下にともない出荷減少。茨城は作付け増加もあり、年内から増量する見込み。関東産の出遅れが目立った前年と比較し、価格はやや下回る見込み。
ほうれん草	並	1,607	並	423	群馬 茨城 千葉 埼玉	各地好天に恵まれ生育は順調。12月は多かった前年並みの入荷が予想されるが年末需要に支えられ荷動きは良好。価格は前年並みだが平年をやや下回る見込み。
パセリ	少	61	高	1,121	千葉 静岡 岡	主産地での病気の発生により、前年を下回る出荷を見込む。また、飲食店の営業再開等にもともない、需要はある程度回復の兆しが見られ、前年を上回る価格が見込まれる。
春 菊	やや少	333	やや高	707	千葉 栃木	前年は暖冬のため潤沢な出荷となり需要も振るわなかった。今年は冷え込みが強まる見込みで、千葉や北関東産の出回りは少なく、前年をやや上回る価格が見込まれる。
レタス	やや少	6,941	並	144	静岡 兵庫 茨城	西南暖地は生育が順調で潤沢な出荷を見込み、前半は軟調な相場展開を見込む。後半はクリスマス需要が高まるため、引き合いが強くなる見込み。
さつまいも	やや多	3,200	やや安	259	千葉 茨城	収穫・貯蔵作業は順調に進んでおり、それまで小ぶりだったサイズも回復傾向にある。台風の影響や作柄が悪かった近年に比べ、数量は平年よりやや多い見込み。
いちご	並	2,758	並	2,076	栃木	栃木を中心に上旬がピークとなる見込み。各産地の生育は前進傾向。業務需要は前年並みまで回復していないものの、中旬以降に端境となれば堅調な価格となる見込み。

花 販売情勢

◆11月の販売経過【切花】

前年は全国的に生育段階での天候不順の影響から生育遅れとなる品目が多く、不安定な入荷となりました。本年においては、上旬は菊類でやや品薄傾向であったものの全国的に天候に恵まれたことから前進傾向となる品目も多く、花き全般については概ね安定した入荷となりました。

販売については、緊急事態宣言の解除以降、イベントや婚礼需要は徐々に回復し始めており、ブライダル商材であるバラやカラー等では安定した価格となりました。一方で、量販・小売店においては行楽地などへの外出の増加により仕入れを制限する店舗もあり、やや動きの鈍い販売となりました。

◆今後の見通し（1月）【切花】

全国的に天候に恵まれたことから、各産地の生育は概ね順調に推移しており、比較的安定した出荷となる見込みですが、品目によっては燃油の高騰による加温不足等が影響し、出荷が不安定となる懸念があります。

販売については、量販・小売店、業務における東北の小正月需要の和花や成人式の洋花等を中心とした動きとなりますが、新型コロナウイルスの影響を払拭できないことも懸念されるため、品目によっては厳しい販売となる見込みです。



◆今後の見通し（1月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
ス ト ッ ク	千葉・宮城・山形の出荷が主力。 東北産地が生育前進で進むなか、年明け以降は不安定な入荷となる見込み。 業務需要中心の販売。
カ ラ ー	千葉の出荷が主力。 天候にも恵まれ、生育は順調に推移しており、平年並みの入荷となる見込み。 ブライダル等業務需要中心の販売。
ア イ リ ス	千葉・大阪の出荷が主力。 各産地とも作付面積は減少しており、出荷は平年より少ない見込み。 正月・仏花・稽古需要中心の販売。
カーネーション	千葉・愛知・長崎の出荷が主力。 各産地とも気候が安定していることから生育は順調に推移しており、安定した出荷となる見込み。 業務需要中心の販売。
キンセンカ	千葉の出荷が主力。 生育は順調に推移しており、年明け以降安定した出荷となる見込み。 仏花需要中心の動き。

米穀情報

米穀情勢について

1. 令和3年産米の農産物検査結果（速報値）について

（農林水産省 11月30日公表）

全国の10月31日現在の水稻うるち玄米の検査数量は、349万7,415トン（前年産同期比96%）、飼料用玄米は、34万6,124トン（前年産同期比185%）となっています。

また、千葉県の10月31日現在の水稻うるち玄米の検査数量は、15万3,770トン（前年産同期比88%）、飼料用玄米は、4万5,916トン（前年産同期比227%）となっています。

全国同様に千葉県でも、飼料用玄米の検査数量の大幅な増加については、主食用米から飼料用米への作付転換がすすんだことが大きな要因となっています。

【図表1】 令和3年産米の農産物検査結果（速報値）

		令和3年産米	令和2年産米	前年産比	前年産差
		検査数量①	検査数量②	①／②	①－②
全 国					
	水稻うるち玄米	3,497,415	3,632,624	96%	▲135,209
	飼料用玄米	346,124	186,867	185%	159,257
千葉県					
	水稻うるち玄米	153,770	173,797	88%	▲20,027
	（内訳）コシヒカリ	71,731	75,995	94%	▲4,264
	ふさおとめ	23,403	27,619	85%	▲4,216
	ふさこがね	42,008	54,328	77%	▲12,320
	粒 す け	5,456	2,301	237%	3,155
	飼料用玄米	45,916	20,261	227%	25,655

2. 千葉県の令和4年産主食用米の生産目安の設定について

千葉県農業再生協議会が設定する千葉県の令和4年産米の生産目安については、令和3年11月19日に農林水産省より示されました「米穀の需給および価格の安定に関する基本指針」の令和4年産主食用米等生産量675万トンに本県の需要実績シェアを乗じた値に、コロナ禍による需要減などを背景とした民間在庫量の増加を考慮する検討が行われています。

需給バランスの安定に向けて、令和4年産米の作付けにおいても令和3年産米に引き続き、飼料用米等への作付転換に取り組むことが必要な状況となっています。

今後のスケジュール

- 令和3年12月13日 千葉県農業再生協議会幹事会
令和4年産米における生産目安の設定に関する協議
 - 令和3年12月22日 千葉県農業再生協議会総会
令和4年産米における生産目安の設定
- 
- 令和4年1月 各地域農業再生協議会
 - ・ 地域における農業者別の生産目安の設定方針の協議・策定（地域農業再生協議会総会）
 - ・ 農業者別の生産目安の設定・通知

3. 令和3年産作付転換の状況について

令和3年産主食用米の作付面積は、130.3万haと前年比で約6.3万haと過去最大規模の減少となりましたが、飼料用米への転換が4.5万ha（作付転換面積の7割以上）を占め、麦・大豆等の品目への転換は伸び悩む状況となっています。

【図表2】主食用米および戦略作物等の作付け（農林水産省）

（単位：万ha）

	主食用米	備蓄米	戦略作物等							
			加工用米	新規需要米						
				飼料用米	WCS用稲	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	麦	大豆	その他 (飼料作物・ そば・なたね)
2年産	136.6	3.7	4.5	7.1	4.3	0.6	0.6	9.8	8.5	10.2
3年産	130.3	3.6	4.8	11.6	4.4	0.8	0.7	10.2	8.5	10.2
前年差	▲6.3	0	+0.2	+4.5	+0.1	+0.1	+0.1	+0.4	0	0

※前年差については、ラウンドの処理の関係で一致しない場合があります。

4. 令和4年産米政策に係る拡充・見直しの検討状況について

農林水産省は、令和4年産米に向けた対応について、①「より収益性の高い作物への転換」に向けた取り組みへの一層の支援が必要、②「より定着性の高い作物への作付転換」につなげるための見直しが必要であるとし、水田活用の直接交付金・水田リノベーション事業の拡充・見直しを検討しています。

(1) 国内外の新市場開拓による水田農業の生産性・収益性向上

ア. 「水田リノベーション事業」の令和3年度補正予算額を大幅に拡充

ア) 生産者向け支援：270億円 ➡ 410億円

イ. 麦・大豆の団地化、農業機械・技術導入に対する支援を強化

- ウ. 新市場開拓用米（輸出用米等）の複数年契約に対する支援を新たに創設（1万円/10a）

（2）飼料用米以外の選択肢の拡大

- ア. 水田リノベーション事業（令和3年度補正予算）の対象品目・単価の拡充・見直し
- （ア） 子実用とうもろこしを追加（4万円/10a）
- （イ） 加工用米の助成単価を3万円/10a（前年差▲1万円/10a）に見直し、水田リノベーション事業総支援対象面積を約6.7万haから約10.3～11万haへと拡大
- イ. 計画的な地力増進作物の取り組みに対する支援を創設（2万円/10a）
- ウ. 飼料用米の戦略作物助成単価は維持しつつ、産地交付金の加算措置を見直し
- （ア） 飼料用米・米粉用米複数年契約加算は、複数年契約に対する経過措置として、継続分（令和2年～、令和3年～）を対象に令和4年は0.6万円/10a（前年差▲0.6万円/10a）を措置するが、令和4年からの新規分については対象外となります。
- （イ） 転換作物拡大加算、高収益作物等拡大加算は廃止（都道府県連携型助成による拡大分への支援は継続）

【図表3】水田リノベーション事業支援内容（農林水産省）

対象作物	助成単価	前年
新市場開拓用米（輸出用米等）、麦・大豆、高収益作物（野菜等）、 <u>子実用とうもろこし（追加）</u>	4万円/10a	4万円/10a
加工用米	3万円/10a	

水田リノベーション総支援対象面積を拡大

令和3年度	令和2年度
約10.3～11万ha	約6.7万ha

（3）転作が定着した水田への支援の見直し

- ア. 水張りができない農地は交付金の対象外であることを徹底
- イ. 現場の課題を検証しつつ、今後5年間（令和4～8年）の一度も水張りがおこなわれない農地は交付対象水田としない方針
- ウ. 多年生牧草への支援（戦略作物助成）について、播種から収穫を行う年は3.5万円/10a、収穫のみを行う年は1万円/10aに設定
- エ. 高収益作物による畑地化を加速
- （ア） 高収益作物（野菜等）は17.5万円/10a（前年同額）
- （イ） その他作物（麦・大豆）は10.5万円/10a（前年差▲7万円/10a）

肥料情報

甘藷肥料のキーポイント

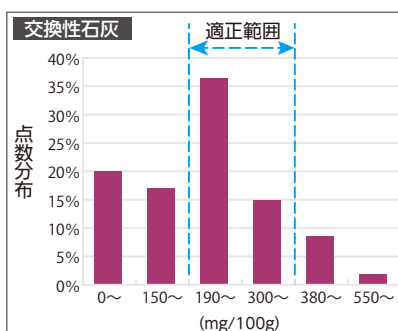
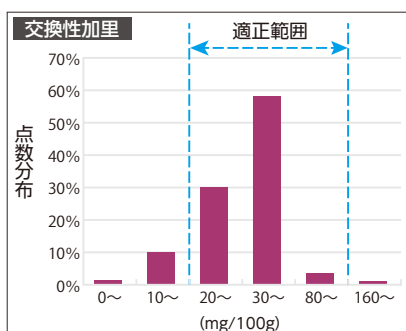
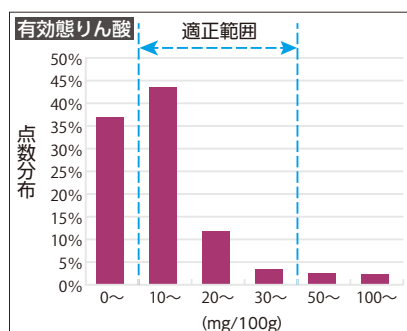


土壌の養分が不足していませんか？

甘藷は**連作**することが多く、しかも吸肥力が強いいため、土壌中の**養分が低下**しやすい作物です。

JA全農ちば営農技術センターの分析結果（下図参照）では、苦土が不足傾向となっています。不足している成分は、積極的に補給しましょう。

2020年度 甘藷作付土壌分析結果 597点（JA全農ちば 営農技術センター）



甘藷作りで大切なこと

その１．土壌診断の実施！

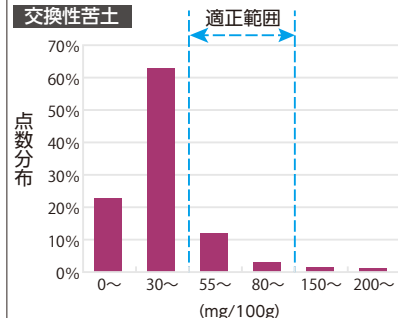
土壌診断に基づき、不足している成分を補いましょう。

その２．完熟堆肥の施用を！

窒素成分の少ない、完熟した堆肥を施用しましょう。

その３．有機質肥料を選ぶ！

速効性窒素と緩効性窒素をバランスよく含んだ有機質肥料を施用しましょう。



★とっておきの土壌改良材

銘柄名	主要成分	備 考
リンスター	りん酸30%、苦土8%	りん酸の補給に
マルチサポート1号	苦土15%、微量元素	苦土と微量元素の補給に
オールアッシュPK455	りん酸14%、加里15%、苦土5%	りん酸、加里、苦土の補給に
畑のカルシウム	カルシウム28.5%	pHを変化させず、Ca吸収性も良好に
セルカ	アルカリ分 粉46% 粒47%	カキガラ原料の動物質石灰
レオグリーン特号	腐植酸、パーク堆肥、米ぬか	濃縮ペレット堆肥
アズミン	苦土3%	腐植酸で根の活力アップ
ストロングバランス	アルカリ分35%、苦土12%、微量元素	カルシウムベースの総合微量元素資材

★充実の基肥ラインナップ

銘柄名	保証成分 (%)			有機 (%)	形状	備 考
	N	P	K			
米ぬかイッパイ	2.5	7	3	約72	粒状	米ぬか同時施用による品質向上
有機アグレットS300	3	10	10	約50	粒状	低コストタイプ
さつま配合420	4	12	10	約31	配合	甘藷配合肥料の定番
さつまオールスター428	4	12	8	約40	粒状	低コストタイプ
さつま姫	5	12	12	約48	粒状	甘藷化成肥料の定番
有機アグレットさつま名人	5	10	10	約47	粒状	硝酸態窒素・微量元素入り肥料
さつまペレット520N	5	12	10	約49	粒状	硝酸態窒素入り甘藷専用肥料
エコレット収穫まつり505	5	10	5	約47	粒状	微量元素・腐植酸・堆肥入り肥料

TOPICS

県内小学校で
稲作の出前授業を実施！

J A全農ちばは、11月4日に浦安市立舞浜小学校にて地元の千葉県産米に愛着をもってもらおうと出前授業を行いました。

同校の5年生は、総合的な学習のなかで「お米博士になろう」というテーマで5月からバケツ稲を育てていました。しかし、収穫直前に刈り取りが出来ない状況となり、同校から相談を受けたJ A全農ちばは、県内生産者に依頼して約300株の稲穂を提供しました。児童はその稲穂を乾燥させ、脱穀作業を体験しました。この出来事をきっかけに出前授業を提案し、今回の授業が実現しました。



当日の授業では、5年生92名に千葉県農業の特徴や田んぼの役割・農業の魅力等について解説しました。また、県内生産者によるインタビュー動画も視聴してもらい、米作りのやりがいや農業の魅力について伝えたうえで、自ら脱穀したお米を試食しました。

試食後すぐの給食でしたが、ご飯をおかわりする姿が多く見られました。

児童には、新米の「粒すけ」2キロや全農オリジナルキャラクター「ライスライダー」の冊子、米に関する情報誌『OKOME TABLEYO』をプレゼントしました。

同校の梨本昭子校長は「農業に触れる機会がない児童にとって貴重な時間になったと思います。」と話されました。

今後もJ A全農ちばは、子どもたちへの食育活動に取り組んでまいります。

TOPICS

医療関係者に
千葉県産新米コシヒカリを贈呈

J Aグループ千葉は、11月22日に米消費拡大運動の一環として、千葉大学医学部附属病院の医療に携わる約3,000名の全職員に、千葉県産新米コシヒカリを贈呈しました。

千葉大学病院の広報担当・高井さんによると、同病院では、2020年2月から新型コロナ患者の受け入れを開始し、今年8月～9月に猛威を振るった第5波では、確保していた50床のうち48床が埋まるほどに危機迫る状況が続きました。



しかし、その後は落ち着き10月上旬から新たなコロナ患者受け入れがない模様です。

贈呈式ではＪＡグループ千葉を代表し、日頃のご尽力に対する敬意と感謝を込めて、林茂壽会長より千葉大学病院の横手幸太郎病院長に千葉県産の新米「コシヒカリ」2kgの目録を贈呈しました。

林会長は「新米をお腹一杯に食べていただくため、職員お一人おひとりにお渡しできるように用意しました。主食である米を力の源にさせていただきたいです」と挨拶されました。

横手病院長からは「一年半ほど張り詰めた状態が続いたため、今もなお不安な気持ちを抱える職員もいます。頂いた米で力を付け、今後の通常診療やコロナ対策に励みたいと思います」と感謝の言葉を述べられました。



第46回 農業機械大展示会「紙面展示会」お礼



第46回ＪＡグループ千葉農業機械大展示会は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、実開催から紙面開催に変更し、10月1日(金)から11月30日(火)の2か月間「農機チャンス祭」として開催しました。

『応援します！千葉県農業』と題したこの紙面展示会では、ＪＡ自己改革の目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向け、農業機械メーカー7社の機械を中心に、最新機械や中古農機情報を掲載いたしました。

また、今回のチャンス祭では、10月18日(月)～11月12日(金)にかけてメーカー7社が協力し、機種や台数を絞った常設展示会を開催しました。

常設展示会には、14ＪＡ、239名の生産者にご来場いただきました。ご購入、ご来場いただいた皆さまありがとうございました。

ＪＡグループ千葉は、引き続き千葉県農協農機事業連絡協議会や各メーカーと連携を取りながら、農業機械事業を通じ、省力化や生産性の向上・サービス体制の強化に努めてまいります。



アグリ情報ちばに関するアンケートにご協力ください

いつも「アグリ情報ちば」をお読みいただき、ありがとうございます。

J A全農ちばでは、皆さまからのお声を活かし今後の誌面の充実をはかるため、アンケートを実施いたします。

恐れ入りますが、アンケートにご回答の上キリトリ線で切り取り斜線部分をのり付けし、ポストに投函ください。



※切手は不要

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で100名の方に

房総ポーク加工品の詰合せセットを
プレゼントします。



※写真はイメージです

以下のアンケートにお答えの後、切り取って、のり付けの上ポストに投函ください。

アンケート

のりしろ

1. 購読者の年齢層に☑を入れてください。
- ☐30代以下 ☐40代 ☐50代 ☐60代
☐70代 ☐80代以上

2. 現在、お住まいの市町村名をご記入ください。
- () 市・町・村

3. よく読む記事を選択してください。(複数選択可)

- ☐全農自己改革 ☐営農情報 ☐園芸情報
☐米穀情報 ☐肥料農薬情報 ☐トピックス
☐J Aタウン
☐その他(具体的に)

4. あまり読まない記事を選択してください。(複数選択可)

- ☐全農自己改革 ☐営農情報 ☐園芸情報
☐米穀情報 ☐肥料農薬情報 ☐トピックス
☐J Aタウン
☐その他(具体的に)

5. あらたに掲載して欲しいことを選択してください。
- (複数選択可)

- ☐行事・イベント情報 ☐レシピ ☐クイズ
☐その他()

6. J A全農ちばのホームページに「アグリ情報ちば」が掲載されていることをご存じですか。
- ☐知っている ☐知らない

7. 記事へのご意見・ご要望がありましたら具体的にご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。

- ◎抽選で房総ポーク加工品の詰合せセットをプレゼントします。〒・ご住所・お名前をご記入ください。

ご住所 〒 -
お名前

- ※1 おあずかりした個人情報はプレゼント品の発送のみに使用いたします。
※2 当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

のりしろ

JA全農インターネット通販



JAタウン

千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら

JA全農ちば 愛情いちばん館

JAタウン“JA全農ちば 愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。贈り物やご自宅用には是非ご利用ください。

お問い合わせ

全国農業協同組合連合会 千葉県本部 園芸部 園芸直販課

TEL 043-245-2911



愛情いちばん館HP



松戸市産

「矢切(やきり)ねぎ」

今月のイチオシ

お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。

身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

発行／全国農業協同組合連合会千葉県本部 令和3年12月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻第138号
編集・発行部署／管理部 企画広報課 〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話043-245-7360 FAX043-247-9715

JA全農が提供するラジオ番組



あぐりずむ
WEEKEND

9:30~9:50 毎週土 放送
生産者の熱い思いをお届けします。

全農 ZEN-NOH
COUNTDOWN
JAPAN

13:00~13:55 毎週土 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。

JA全農ちば
公式HP



JA全農ちば
公式Instagram



キリトリ

料金受取人払郵便

千葉中央局承認

8546

差出有効期間

2022年3月31日まで

260-8790

千葉県千葉市中央区新千葉3丁目

2番6号

JA全農ちば 行

アグリ情報ちばアンケート在中

山折り